

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 48 回） 議事概要（案）

1 日 時 平成 30 年 5 月 30 日（水） 10:30～12:00

2 場 所 合同庁舎 2 号館 総務省 10 階 第 1 特別会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査）、足立 朋子、飯塚 留美、市川 武男、上村 治、
川口 さち子、阪田 史郎、田北 順二、橋本 明、松永 彰

[関係者]

菅田（KDDI）、新（NTT ドコモ）、坂田（ソフトバンク）、石川（日立製作所）、
本多（エリクソン・ジャパン）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中里、小橋、三宅

4 配 付 資 料

- 資料地-48-1 地上業務委員会（第 47 回）議事要旨（案）
- 資料地-48-2 ITU-R SG5 WP5D 第 29 回会合報告書（案）
- 資料地-48-3 ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合への日本寄与文書（案）
- 資料地-48-4 ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合への対処方針（案）

- 参考資料 1 ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合の開催案内
- 参考資料 2 ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合の日本代表団一覧
- 参考資料 3 地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第 47 回）議事要旨について

【資料地-48-1】

地上業務委員会（第 47 回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

（2） ITU-R SG5 WP5D 第 29 回会合の報告について

【資料地-48-2】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第 29 回会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合への日本寄与文書（案）について

【資料地-48-3-1】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT. BY.INDUSTRIES]へ向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 寄与文書のIntroductionについて、最初の文における表現が漠然としている。2文目では3.3節に関連した部分について合意ができていないと書かれているが、これとの関連が分かりづらい。

菅 田 氏 明確となるよう検討する。

【資料地-48-3-2】

KDDI 菅田氏から、「WRC-19 の論点 9.1.8 の CPM テキスト案へ向けた作業文書の改訂提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三 瓶 主 査 []で括られている箇所を削除ということであるが、問題はないか。

菅 田 氏 []で括られている箇所は、Editor's noteとSummary and Analysisの部分。前者については特に問題ない。後者についてはアラブ諸国による700MHz帯をMTCにハーモナイズした形で特定したいとの主張を案として反映している状況であり、その部分が括られている。MTCについては様々な周波数帯に応じたサービスを提供していくことが可能であるため、今回は[]を削除しようというのが趣旨である。

【資料地-48-3-3】

KDDI 菅田氏から、「新報告草案 ITU-R M.[IMT.MTC]へ向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 レポートは今回完成させるとのことであるが、Annex直前のEditor's noteの内容を踏まえると、今回の提案ではAnnexのエッセンスのみメインテキスト部分へ移し、Annex Bを削除することで完成させようとしているのか。

菅 田 氏 今回Annex Bの内容を削除することは考えていない。現状のAnnex Bは、3GPPの情報から日本として内容を絞ったものである。

橋本構成員 日本の方針としては、Editor's noteを削除し、Annex Bを残すことになるか。

菅 田 氏 そうである。

橋本構成員 テキストで明確に示すのか。あるいは会合でその場の雰囲気も考慮しながら口頭で提案するのか。

菅 田 氏 Annex Bを残す方向で現地対応することになる。

【資料地-48-3-4】

KDDI 菅田氏から、「決議 655 の検討に関連する WP7A へのリエゾン案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-48-3-5】

N T T ドコモ新氏から、「勧告 M.1036-5 の改訂草案に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 現在、議論が紛糾しているsectionは存在するか。また、ごく少数の国でしか特定されていない帯域について議論する必要はあるのか。

新 氏 現在議論の対象となっているのは、IMT特定されていない周波数をIMTで利用することについて言及したテキストをこの勧告案に含めるかといった箇所と、特定されている国が少ないIMT周波数の状況について、該当する周波数とそれを特定しているRRの脚注をまとめた表を載せるかどうかといった箇所である。

各論の周波数アレンジメントについては、寄書の1.5GHz帯の部分が議論の対象となっている。他の周波数についてはアレンジメントの構成に関する議論は収束している。

【資料地-48-3-6】

N T T ドコモ新氏から、「WRC-19 議題 9.1、課題 9.1.2 の CPM テキスト案における想定される規制事項のアクションに対する考察」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 CPM テキストの具体的な修正案については J-07 で扱っている。分割したのはフランスとの共同寄与文書となる可能性があるためか。

新 氏 その通りである。

【資料地-48-3-7】

ソフトバンク坂田氏から、「WRC-19 議題 9.1、課題 9.1.2 の CPM テキスト案に向けた作業文書の 3.4 章及び 4 章の修正提案」について説明があり、以下のコメントと質疑応答の後、承認された。

橋本構成員 寄与文書中で示されている Resolution 528 (WARC-92)は既に削除されている点に留意する必要がある。また、この決議は既に削除済みであることも示しておくこと、議論の場では分かりやすい。

坂 田 氏 留意して検討する。

【資料地-48-3-8】

ソフトバンク坂田氏から、「地上 IMT ネットワークのための、2GHz 程度以下の IMT 特定周波数を用いた HAPS IMT 基地局を利用するための技術・運用面のガイダンスに関する新勧告/新レポート開発提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

- 橋本構成員 成果物について、今会期中に何らかの形で提出するかどうか考えておく必要があるものと思われる。なお、ある程度の output が出ている方が、追加 study を絞りやすく次回 WRC に向けて進めやすい。
- 坂田氏 今回の勧告を WRC-23 での新議題作成の後押しとなるよう WRC-19 の前に一旦完成させることを目標としている。作業計画の状況を鑑みながら、現地で柔軟に調整したい。
- 橋本構成員 Work plan の中に recommendation が 2 つ参照されているが、M.1467 は HAPS とは関係ないので他の番号ではないか確認してもらいたい。
- 坂田氏 確認して修正する。

【資料地-48-3-9】

日立製作所石川氏から、「IMT-2020/ZZZ 文書に関する作業計画及びテンプレートに関する提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-48-3-10】

エリクソン・ジャパン本多氏から、「IMT-2020 入力サマリー（受領）テンプレートの修正版」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(4) ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合への対処方針案について

【資料地-48-4】

事務局から、ITU-R SG5 WP5D 第 30 回会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、近日中に事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上